第31回中国ミニバスケットボール交歓記念大会（山口大会）に参加して

湯田ミニバスケットボールスポーツ少年団
キャプテン　　佐伯　知範

大雪が心配される中、三日間にわたる中国大会が始まりました。湯田ミニにとって県代表として出場する大会は初めてだったので、みんな楽しみにしていた反面、緊張した参加となりました。さらにぼくは開催県の一位チームのキャプテンということで、初日に選手宣誓をすることになり、緊張しっぱなしでしたが、無事、務めることができました。この後、チーム紹介を思いっきりして、この日は終わりました。ホテルに帰り、九時には寝ました。翌日は五時半に起床し、朝ごはんをしっかり食べて、万全の状態で会場に向かいました。

二日目の第一試合の相手は島根県の法吉というチームでした。法吉の平均身長はぼくたちよりも低く、思い切って向かっていけば勝てる相手だったと思いますが、みんな緊張してしまい、前半で大差を付けられてしまいました。後半に気合いを入れ直し、最後まであきらめずにプレーしましたが、２０対２９で負けてしまいました。第一試合で山口県の一番手として出場したのに、本当にくやしい負けでした。コーチもとてもくやしがっていました。第二試合は広島の三坂地でした。二試合目だったので緊張はしていなかったはずですが、なかなか湯田ミニらしさが出せず、４４対６０でまたもや負けてしまいました。この日はみんな満足するプレーができず、くいが残りました。この日はクリスマスで、徳山駅前のツリー祭に行きました。きれいなイルミネーションを楽しみながら、「中国大会まで来たからには、明日こそは！」とみんなで勝利を誓いました。

三日目は広島のオーシャンズというチームと対戦しました。１ピリからずっと接戦でしたが、最後には３８対３６で競り勝ちました。勝つということはこんなに気持ちがいい！　とあらためて感じました。

今回の中国大会では満足のいく結果を出すことができませんでしたが、大きな大会に出場できたことや色々なチームのプレーを見ることができました。今回の経験を生かし、これからもバスケットを続けていきたいと思います。この大会の関係者のみな様、監督やコーチ、保護者の方々に感謝しています。本当にありがとうございました。

第31回 中国ミニバスケットボール交歓記念大会（山口大会）
平成23年12月23日～25日
キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター